

平成29年度予算に対する各会派の意見

古河維新の会

菅谷前市長時の2年間、消防団員家族への功労報償金があったが、平成29年度の予算はなし。なぜ予算がないのかの質問に市長はこの2年間は異常だったと答弁した。また、タウンミーティング時に一番多い要望は生活道路の改善等であるにもかかわらず、大幅の減額である。市民の要望を聞いていただきたい。

増田 悟 倉持 健一
山腰 進 稲葉 貴大

政策研究会

古河市は人口減少・少子高齢化などの社会情勢に対応するため、歳入基盤の強化を図るとともに歳出の削減に取り組む必要がある。副市長2名体制の予算を1名分減額するとともに、消防団の装備品を至急整備すべきであると考え、消防費増額の修正案を提案し、可決された。さらなる市の発展を願う。

並木 寛 佐藤 泉
生沼 繁 大島 信夫
渡邊 澄夫 小森谷英雄

市民ベースの会

全国でも先進事例となったICT教育へのさらなる支援強化や消防団への新たな支援の確立、また職員の意識改革を行うことに期待し賛成。一方で消防団家族功労報奨金の廃止、総和・三和地区がメインの道路新設事業の大幅予算減に関しては、事前説明なく進められた。今後は密な情報共有など誠意ある対応を望む。

秋山 政明 阿久津佳子
長浜 音一



会派に属さない議員

秋庭 繁

新年度予算は、仁連新産業用地開発を進める反面、旧総和・三和地域の生活道路改良費および生活保護費等で約6億円も削減。開発優先、福祉切り捨ての市民に冷たい予算である。

落合 康之

一般会計予算委員会において、副市長人件費を消防費に振り替えて修正し可決できたことは、古河市議会史上初のこと、賞賛に値する。市民目線の予算となったことで賛成する。

四本 博文

平成29年度の予算が決定。予算規模は、古河市の台所事情を常に見据えながら、「地方債依存度」「将来負担比率」「実質公債費比率」の健全化の推移を見守る必要がある。